

STANCERの軌跡

2011年	2010年	2006年	2004年	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年	1997年	1995年	1992年	1991年	1989年
インソール「オブティカント」を開発。ランニングを中心に販売開始。	高校・ゴルフ練習場でデモンストレーションをし大好評を得る。スタンサーで測定して装着するパーソナル・ニューコンセプト・インソール「オブティカント」を開発。ランニングを中心に販売開始。	韓国でのゴルフ・スタンサー製造（KTM社）韓国内の大学・大型量販店『ゼビオスポーツ』に90台導入。「ゴルフ・スタンサー」デモンストレーションをゼビオ「GO1」にて実施。	大型量販店『ゼビオスポーツ』に800台導入。	大型量販店『ゼビオスポーツ』に900台導入。「ゴルフ・スタンサー」デモンストレーションをゼビオ「GO1」にて実施。	全国のスノーボード即売会イベントに本格導入。測定累計人数150,000人を突破。	JHP安全用品委員会に認定用品として選出され、パルコール婦恋等数箇所のスキー場で開催されたJHPハーフパイプスクールで活用される。測定累計人数100,000人を突破。	スノーボードスタンサーを使用した測定取り付けシステムのビジネスモデル特許を申請。スキー場レンタルショップでのスタンサービジネスモデルの導入を開始する。苗場スキー場、かぐら・みつまたスキー場導入。測定累計人数200,000人を突破。次世代スタンサーとして「ゴルフ・スタンサー」の開発を開始。	ドイツ・ミュンヘンで行われたワールドスポーツコレクション「ISPO」に出展。全世界のスポーツチェーン店・スノーボードメーカーより問い合わせが殺到。	「スタンサー」が国際特許（PCT）を取得。全世界18カ国参加のグローバルフォーラム（大阪商工会議所）に代表として選出される。	福井大学清水教授による「スノーボードスタンサー」の検証実験並びに体力調査研究所柳吉池氏による「スノーボードスタンサー」の検証実験により論理的・学術的にも「スノーボードスタンサー」の整合性が証明される。	全国キャンペン終了時、スノーボードショップ・スポーツチェーン店を中心に販売。「スノーボードスタンサー」販売台数275台。測定累計人数10,000人を突破。	全国キャンペン終了時、スノーボードショップ・スポーツチェーン店を中心に販売。「スノーボードスタンサー」販売台数275台。測定累計人数10,000人を突破。	試作第一号機完成と共に特許申請。東京・池袋で開催されたスポーツイベント『アクティブコレクション』会場において、JSBA加盟の全プロスノーボーダーが測定。一般来場者は約500名が測定。手動式第一号機が完成後、全国キャンペン展開。	副島所長が身体特性によるスノーボード・バインディング決定装置の開発を開始。

今までの概念を変えた新たなツール

毎日の健康を維持する為には、足もとのチェックが必要。

なぜなら身体の土台となる『脚』のバランスは健康にとって大切な要素だからである。

特に股関節の可動域が左右で大きく異なる程、身体全体に与える影響は大きい。

現在の自分を変える為、まずは乗って、測って、気がついて。

STANCERによる日々の健康管理で、誰しもが毎日の生活に活力を。そしてアスリートは誰よりも速い動きの獲得を。

STANCER だからわかる未来がある。

これが
STANCERで
わかる未来

Q. どんな人でも測定可能ですか？

A. 対象年齢は9歳以上です。なお、以下に該当する方はご使用を避けて下さい。【運動器系に障がい・疾患のある方、現在負傷中または通院治療中の方、妊娠されていて医師から運動の許可が下りていない方】

POINT 1 立位での股関節可動域

荷重時の股関節回旋可動域を測定するツールは、今までありませんでした。立位での測定が可能になることで、身体状態の評価に革命を起こします。

POINT 2 左右同時に測定

測定時間を圧倒的に短縮。軸脚の決定や、動きの特徴の傾向など、普段あまり意識しない部分を明確に表すことを可能にしました。

Q. 股関節の回旋可動域を測定することによって、どうして体調管理やアライメントチェックが出来るのですか？

A. 両方の股関節の可動域を測定することは身体のバランスをみる上で大変重要なポイントになります。爪先の角度（センター角度）の数値から、身体の中心部にある腰椎にかかる力やその人の歩行や全身の動きの特徴など様々なことがわかるのです。

Q. 測定値の左右差は改善出来ますか？

A. もちろんです！測定値をもとにその場であなた専用カスタマイズする【オブティカント】を使用することで、股関節が矯正されます。

POINT 3 センター角度

爪先の角度からその人の重心位置を割り出します。アライメントチェックに利用可能で、動作分析や体調管理に最適です。また、独自のインソール【オブティカント】をカスタマイズし装着するうえで、センター角度の数値は重要なデータとなります。

ありそうでなかった測定方法。

バランスの科学を実感！

～ 身体の歴史を紐解くツール、それがSTANCER ～

CHECK!

オブティカントとは？



あなたは、カカトに入れるだけ！すべてのランナーに快適を...

ひざの痛み、腰の痛み、外反母趾など、誰しもが持つ身体の悩みに寄り添う、まったく新しい形。インソールではなく、インヒール。驚きの効果を、あなたに。

『調体可動域理論』

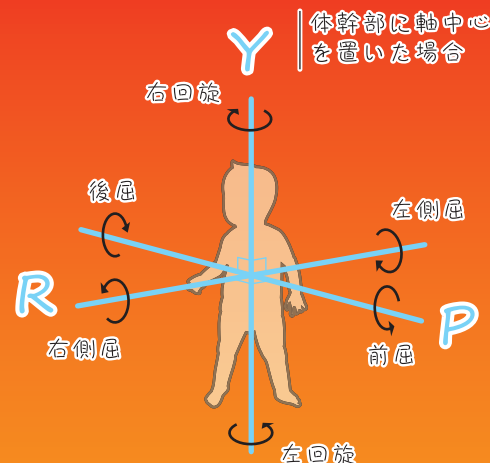
身体動作は複雑に見えますが、実は関節に存在する3つの軸の回転運動の組み合わせで行われています。

3つの軸を

- ◆左右軸（P：ピッチング軸）
- ◆前後軸（R：ローリング軸）
- ◆上下軸（Y：ヨーイング軸）

と呼び、この3軸の回転運動を上手く組み合わせることで、身体の動き（＝関節の動き）をコントロールできます。これを『関節可動域理論』と呼んでいます。

関節の可動域を測定し、その値を合理的に修正することが身体のバランスを整えることとなり、人間が本来持っている自然回復力を最大限に活用することにつながるのです。これが『調体可動域理論』です。



お問い合わせ先はコチラ



ADS

有限会社

ADS札幌

065-0023
北海道札幌市中央区北23条東17丁目1-17 ユーエル町1F
TEL: 011-787-2585 FAX: 011-787-2581
HP: <http://www.ads-sapporo.co.jp> E-mail: info@ads-sapporo.co.jp